

# 会報 No.336



# キャリア・コンサルタント

2024年（令和6年）1月号

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3

小川町北ビル 8F

TEL：03-3256-4167（代表）

直通電話：コンサルティング事業部 03-6826-5875

：外国人材受入事業部 03-6826-7789

FAX：03-3256-4168

E-mail：[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[コンサルティング部] eigyo@ccco.jp

URL：<https://ccco.tokyo>

編集長：山本奈美

編集者：大野長壽 中野 忠 福田秀樹

バックナンバー：

<https://ccco.tokyo/kaihoh>

1. 2024年開幕！乾杯！

理事長 渡邊 健三

2. ふるさと納税は悪税なり！

組合員 中野 忠

3. (健康管理 18)

常務理事・事務局長 宮坂 武彦

4. 事務局だより

事務局

一粒万倍

## 1. 2024 年開幕！乾杯！

代表理事 渡邊健三

新年あけましておめでとうございます。

今年の正月はまずまずの天気の実業団駅伝を見て一杯やりながら、ぐだぐだと過ごしていました。そこへ夕刻に能登で大地震が発生したとの緊急地震速報が出てびっくり、自宅での揺れも結構大きかったです。以前から能登で地震が発生していたことを思い出しました。被害の全容が不明なのが気がりではありません。全容把握に時間がかかりすぎている感じが、道路が寸断されているためようです。また、能登といえば志賀原発を思い出しますが、あれだけ大きい地震なのに電源確保には1系統残ったので大丈夫らしいです。しかし、本当かな、何か隠しているのではないかと感じました。まだまだ余震が続くようですので、今後も問題ないのか、避難しなくていいのか気がりではありません。

また、2日夕方に羽田で日航機が燃えているというニュースが飛び込んできました。海上保安機と衝突したとのことでした。なんで？という疑問です。管制官あるいはどちらかのパイロットのミスなのか、責任追及ではなく、これこそ再発防止のための徹底した原因究明とフェイルセーフの一層の深化が必要と思います。

まあ、なんという年明けなのか、災害と事故の多い年を暗示している感覚を持ちました。

さらにイスラエルとハマスの戦争と中東諸国の動向、ロシアによるウクライナ侵攻、中国の台湾侵攻作戦計画、北朝鮮ミサイル問題など、紛争だらけのこの頃です。狭い地球でなぜこうも争わなくてはならないのかと考えてしまいます。その点、可愛げがあるかもしれませんが、日本は金、金、金の政治屋と取り巻きの利権漁り・無責任体制、国家財政赤字の野放図な垂れ流し、日本経済地盤沈下、芸能界のセクハラづくしと、世界からは異次元の境地をさまよっているように私には思われます。こうなったのは我々自身にも問題があると自覚しなければならぬと思います。変化が必要です。

当組合の状況を鑑みれば、やはり高齢化への対応が不可欠な状況であると思います。新たな発想、視点でビジネスを開拓していかなければCCKの未来は相当厳しいものとなるのではないかと感じています。

日本社会の高齢化、限界集落の増加、人口縮小が進むにつれて、必要とされるビジネスはかえって増加するのではないかと思います。いかに気づき、ビジネスモデルを作れるかにかかっていると考えます。

私自身がかかわっている外国人材受入事業においては、今年は介護人材の受け入れを開始する予定です。介護業界においては経営改善が喫緊の問題であると認識しています。そこをCCKとして今まで培ってきたコンサル能力をフルに発揮し、介護業界とウインウインの関係を構築できるのではないかと期待しています。その延長線に外国人材の活用があり、外国人材、介護業界、CCKの三者におけるウインウインの関係が築けるものと確信しています。

CCKにとりまして、今年は厳しい年になると考えています。皆さまのご協力をいただきながら乗り越えていこうと考えております。本年も従来に増して、どうぞよろしく願いいたします。

## 2.ふるさと納税は悪税なり！

組合員 中野 忠

### 寄付金以上に得するふるさと納税のしくみ

年が明けて確定申告の季節となりました。確定申告に際して話題となるのが「ふるさと納税」による減税です。簡単に云うと寄付した分の税金が戻ってくるということですが、実際には寄付金した金額以上に得するということなのです。その仕組みを簡単に説明すると以下の通りです。

例えば、ある市町村に1万円寄付したとします。所得税の確定申告をする場合、1万円から2千円を引いた8千円が寄付金控除として所得税が減税されます。税率が10%の方の場合、8千円の10%の800円が減税されます。たった800円と思うかもしれませんが、8千円から800円を引いた7,200円がこの後に係る住民税から引かれるのです。すなわち、1万円寄付した人は8,000円分の税金が減税されるということなのです。この場合、不足分の2,000円分が戻らないと思うかもしれませんが、しかし、ふるさと納税の特徴は寄付した自治体から返礼品が送られてくるということなのです。この返礼品に関しては過度な返礼品を贈る自治体に対して寄付金控除を認めないという措置を取るため、返礼品の上限を寄付金額の3割までとしています。この場合寄付金額1万円に対しては3,000円相当の返礼品が送られてきます。となると3,000円の返礼品は寄付金が控除されなかった2,000円より1,000円多い訳ですから1000円得をしたこととなります。この場合1万円ではさほど儲けにはなっていないこととなりますが、5万円の寄付をした場合5万円から2千円を引いた48,000円の税金が戻る上に、5万円の3割の1万5千円の返礼品が送られてきますので、実質63,000円の減税となる訳ですから、寄付金の金額より13,000円も得することとなります。これが、ふるさと納税のしくみです。

### お金持ちだけが喜ぶ制度

この制度は減税される恩恵を受けるという制度ですから、税金を納めていない低所得者は引かれる税金を納めていないので、1万円寄付した人は、3,000円相当の返礼品を貰えるだけで7,000円の持ち出しというだけのこととなります。それならば、ふるさと納税でもらえる返礼品を3,000円で直接購入した方がよかったということなのです。

そこで、沢山得するのが高額納税者です。たとえばいろいろな自治体に対して合計100万円の寄付をした場合、多少の減税限度額はありますが、単純に99万8千円の税金が戻っ

てくるとすると、30万円相当の返礼品がもらえる訳ですから、差し引き29万8千円も得をすることになります。

実際この制度を利用して多くの自治体にふるさと納税して多くの返礼品をもらって楽しんでいる高額納税者は沢山いるようです。

東京23区の自治体は損をしている。

ふるさと納税のもう一つの欠点は、減税される住民税は住んでいる市区町村の住民税が減税されるということです。私は中野区の住民なので、昨年新潟県、三重県、宮崎県の市に寄付したのですが（返礼品としておいしい焼酎や日本酒、すき焼き肉をもらいましたので年末、正月に楽しませて貰いました）、この寄付金額は寄付した市に関係なく今年の中野区の住民税から引かれることになります。私も得して楽しんでいると思うかもしれませんが少額の寄付金でささやかな楽しみ程度の人がいる半面、高額納税者は多額の寄付金で楽しんでいるということです。これに対して、東京の多くの区は特産品がないので、都内に住んでいる人の多くは地方の特産品目当てで寄付する人が多いようです。すなわち、いい特産品で多くの寄付金を集めている地方の自治体があるということです。この自治体は住民税の減税分の心配がいらないので、多くの寄付金を集めているということです。これに対して中野区を始め多くの東京都の区が減税分の持ち出しとなるのです、例えば世田谷区では昨年の持ち出し額は100億円にせまる金額で、世田谷区長はこの矛盾した制度の見直しを訴えているようです。

このように、金持ちがいっぱい得をして、減税の持ち出しの多い区や市があるというこの制度はやはり、悪税といわざるを得ないと思います。

以上

### 3. 「臓器の機能と疾病1－脳」

常務理事 事務局長 宮坂武彦

今回から数回にわたり各臓器の役割・機能と当該臓器特有の疾病につき考えてみたいが、第1回目は、「脳」についてその役割や機能と脳に特有な疾病を以下に記す。

#### 1. 脳

脳は、中央司令塔として末端や内部の諸器官から人体内部の情報や外部環境の情報等を収集し、人間としての統合された行動の指示を出す器官であるが、進化の過程で、古い脳の上に新たな機能を持つ脳を積み重ねてできた複雑な構造となっている。

#### 1-1. 脳の構造とそれぞれの主たる機能

脳には、中枢神経と末梢神経があり、次のように分類できる。

中 枢 神 経	脳	大脳	脳の80%を占め、思考、記憶、判断、感覚、運動、創造性、社会性といった高次の機能を担っており、役割の異なる前頭葉・後頭葉・側頭葉・頭頂葉から成る。
		小脳	眼球運動、平衡感覚などの身体の動きを調節し、大脳から出た運動等の命令を筋肉に指令を出す。
		間脳	視床と視床下部とから成り、視床上部には松果体(メラトニンを分泌)や視床下部の下に下垂体(内分泌腺の制御)がある。大脳と脳幹のつなぎ役を担うと共に嗅覚以外の感覚を脳に送る(視床)や体温調節・血圧・心拍・睡眠等の調整(視床下部)の機能を持つ。
		脳幹	中脳、橋、延髄から成り、生命維持に不可欠な血液循環、呼吸、血圧などの機能を制御している。
末 梢 神 経	自律神経	脊 髄	脊柱管に護られた円柱状の神経の束で、大脳等の指令を末梢に伝え(遠心性)たり、末梢の体感等を大脳等へ伝える(求心性)機能を持つ。
		体性神経	受容器から中枢へ刺激を伝える感覚神経と中枢から効果器へ刺激を伝える運動神経がある。
		副交感神経	アセチルコリンを分泌し、体を休息モードにする。
		交感神経	アドレナリンを分泌し、体を活動モードにする。

(注) 上記に記載がないが、脳の辺縁系に「海馬」という機関があり、短期記憶と長期記憶の橋渡しや見当識など生活する上で不可欠な機能を持つ。この海馬の萎縮が認知症発症に関っているとされている。

#### 1-2. ニューロンワールドの仲間たち

脳神経には、大きく分けてニューロンとグリア細胞に分類され、ニューロンには錐体細胞と顆粒細胞があり、グリア細胞にはオリゴデンドログリア細胞、アストログリア細胞及びミクログリア細胞がある。各細胞が役割分担を行い複雑な脳の機能を充足するように働

いている。それぞれの役割と機能については、下表の通りであるが、十分に解明されていないので、下の説明とは異なる機能等が明らかになることがある。

神経細胞の種類		大きさ	数	機能と役割
ニューロン	錐体細胞	20~50 $\mu$ (*1)	10~20 万程度	脳神経の主役となる細胞で、顆粒細胞等から大量の情報を入力し、他の細胞へ出力する。情報のハブ的存在
	巨大錐体細胞	100 $\mu$ 以上	2~5万	運動にかかわるニューロンで、新皮質から出て手足の骨格筋を制御する。大きいもので1mを超す。
	顆粒細胞	2~5 $\mu$	200億 程度	錐体細胞の1/10程度の大きさで、主として収集した情報を錐体細胞へ渡す役割を担う。
グリア細胞	オリゴデンドログリア細胞	?	?	オリゴ=小さい、デンドロ=少ないを意味し、突起を伸ばしニューロンの髄鞘を形成し情報伝達速度を確保
	アストログリア細胞	?	?	ニューロンに栄養を与えたり、過剰なイオンや神経伝達物質を除去しニューロンの働きを助ける。また、血液脳関門を形成し有害物質から脳を守る。
	ミクログリア細胞	?	?	免疫を担当し、貪食能を持ちニューロンの修復や死んだニューロンを除去する。

\*1. 1 $\mu$ (ミクロン)とは、1mmの1000分の1の長さ。

\*2. グリア細胞の大きさや数について色々なサイトを検索したが、記載したものがなかった。

### 1-3. 脳に関する疾病

脳に関係する疾病の代表的なものを上げると次の通りであるが、その他にも認知症、うつ病、てんかんなどがある。

#### ① 脳梗塞

脳血管内のかたまり又は他の血管で形成したかたまりが脳血管に詰まり、脳の血流が途絶えた状態をいい、詰まった血管の部位により様々な症状が現れる。その症状には、手足の麻痺、言葉を理解できない、話すことができない、性格や人格が変わったり、認知症の症状が現れたりする。

#### ② 脳出血

脳血管内の動脈瘤が破れ、血液が脳内に溢れ出した状態をいい、脳出血を起こすと、出血した場所より先に血液が届けられなくなることと、出血によって周りの脳が圧迫されることが起こる。

#### ③ くも膜下出血

頭蓋骨と脳の間には、硬膜、くも膜及び軟膜があり、脳を守っているが、くも膜と軟膜の間で出血を起こした状態をくも膜下出血といい、くも膜を通る血管の動脈瘤が破裂したことに起因する。経験したことがないような、又はバットで殴られたような激しい頭痛が起こる。

以上

#### 4. 事務局だより

##### ●1月の行事予定

- 9日（水）運営会議（10：30）
- 10日（水）営担会議（10：30）
- 16日（火）理事会（13：00）
- 24日（水）営担会議（10：30）

##### ●2月の行事予定

- 13日（火）運営会議（10：30）
- 14日（水）営担会議（10：30）
- 20日（火）理事会（13：00） ※研修の集い
- 28日（水）営担会議（10：30）

##### ●3月の行事予定

- 12日（火）運営会議（10：30）
- 13日（水）営担会議（10：30）
- 19日（火）理事会（13：00）
- 27日（水）営担会議（10：30）

事務局

## 一粒万倍

- ▼一粒万倍日とは一粒の粳が何倍にも成長して大きな利益をもたらす日、という日で仕事始め、開店、種まき、お金を出すことや財布の使い始めに最適とされる日ということだそうです。ちなみに今年の1月は1日、16日、25日、28日、2月は7日、12日、19日、24日がその日だそうです。参考にさせていただければと思います。
- ▼去年はWBC(ワールドベースボールクラシック)、サッカー女子W杯、ラグビーW杯とワールドカップの年でした。そしてプロ野球日本シリーズでは阪神がオリックスを下し38年ぶりに優勝し、大騒ぎでした。38年前の阪神の優勝は、バース・掛布・岡田のクリーンナップトリオのすごさをよく覚えています。私は阪神ファンではなく少年時代から巨人ファンでした。阪神の日本一は2度目ですが、巨人はなんと22回も優勝しています。長嶋・王を中心に9連覇した時代を知っています。その9連覇の最初の年昭和40年の開幕試合巨人-中日戦を後楽園球場で実際観戦しているのです。国鉄から巨人に移籍した金田が完投し4-2で勝利した試合でした。あの9連覇時代の巨人は本当に強かった。それに比べ2年続けて4位の巨人、監督が阿部に代わってどうなるのか？
- ▼また、CCK 創立30周年というおおきなイベントのある年でした。令和2年の年明けから起きたコロナ騒動は、収まった訳ではありませんが、5月にいわゆる5類に移行してからまるで収束したかのように、多くの人がマスクを外し、宴会があちこちで行われているようです。インフルエンザも流行しているようですし、まだまだ一層の注意が必要です。CCKでは暮れの忘年会、納会、新年の賀詞交歓会と続きました。

## 編集後記：

引き続き皆様のご寄稿をお待ちしております。